平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月12日

上場会社名　株式会社 インターアクション　　上場取引所　東
コード番号　7725　URL　http://www.inter-action.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 木地　英雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 中瀧　明男　TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日　平成25年4月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	891	△17.4	122	△59.3	154	△49.4	222	△26.1
24年5月期第3四半期	1,078	146.6	301	―	305	―	301	―

(注)包括利益　25年5月期第3四半期　227百万円　(△24.5%)　24年5月期第3四半期　301百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	2,771.46	2,758.31
24年5月期第3四半期	4,137.94	4,039.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第3四半期	2,461	1,493	60.5	17,471.20
24年5月期	1,756	1,056	60.0	13,733.91

(参考) 自己資本　25年5月期第3四半期　1,489百万円　24年5月期　1,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	―	0.00	―	500.00	500.00
25年5月期	―	0.00	―		
25年5月期(予想)				500.00	500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 5月期の連結業績予想(平成24年 6月 1日～平成25年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,666	13.2	340	△14.4	353	△13.2	348	△13.3	4,081.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期3Q	85,286 株	24年5月期	76,761 株
② 期末自己株式数	25年5月期3Q	16 株	24年5月期	16 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期3Q	80,306 株	24年5月期3Q	72,831 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部で持ち直しの動きが見られましたが、本格的な回復には至りませんでした。当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおいても、一部の顧客でスマートフォンやタブレット端末向け製品の設備投資の動きが見られるものの、中長期的な投資戦略にはやや慎重な姿勢が見られました。このような状況の中、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるＣＣＤ及びＣ－ＭＯＳイメージャ向け検査用光源装置の実績につきましては、計画通りに推移いたしました。一方、太陽光発電関連製品につきましては、平成24年７月１日から実施された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による太陽光発電システムの需要を見込み、遊休地等の活用のため商品化した「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」の拡販に注力し、好調に推移いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は891百万円（前年同四半期の売上高1,078百万円に比し、17.4％の減少）、売上総利益は512百万円（前年同四半期の売上総利益634百万円に比し、19.3％の減少）、営業利益は122百万円（前年同四半期の営業利益301百万円に対し、178百万円の利益減少）、貸与資産賃貸料及び支払利息等を加減した経常利益は154百万円（前年同四半期の経常利益305百万円に対し、150百万円の利益減少）、繰延税金資産の増加による法人税等調整額等を加減した四半期純利益は222百万円（前年同四半期の四半期純利益301百万円に対し、78百万円の利益減少）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

（光源装置）

当社グループの主力製品であるＣＣＤ及びＣ－ＭＯＳイメージャ向け検査用光源装置につきましては、生産設備の増強を伴う光源装置本体への受注及び半導体メーカーの稼働率改善を受けたメンテナンスサービスが共に計画通りで推移いたしました。

当第３四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は524百万円（前年同四半期の売上高1,036百万円に比し、49.4％の減少）、営業利益は234百万円（前年同四半期の営業利益576百万円に対し、341百万円の利益減少）となりました。

（太陽光発電関連製品）

太陽光発電関連製品につきましては、主として連結子会社である株式会社ＢＩＪにおいて「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」の出荷が堅調に推移したことから、営業黒字化いたしました。連結子会社であるおひさま農場株式会社に関しましては、余剰電力買取制度または固定価格買取制度に基づく売電収入は少額に留まりました。また、大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業に関しましては、当社は、「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトを開始し、ソロモン諸島の電力網の届かない過疎地域へソーラーホームシステム 2,000台を設置する準備を進めておりますが、このプロジェクトによる売上は第４四半期連結会計期間以降を予定しております。

当第３四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は354百万円（前年同四半期の売上高26百万円に対し、327百万円の増加）、営業利益は113百万円（前年同四半期の営業損失32百万円に対し、146百万円の利益増加）となりました。

（その他）

当第３四半期連結累計期間における画像検査装置の外部顧客に対する売上高は12百万円（前年同四半期の売上高14百万円）、営業利益は５百万円（前年同四半期の営業利益４百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ705百万円増加し、2,461百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ612百万円増加し、1,851百万円となりました。これは、現金及び預金が129百万円、受取手形及び売掛金が93百万円、仕掛品が129百万円、原材料及び貯蔵品が146百万円、繰延税金資産（その他流動資産）が66百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、610百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ268百万円増加し、968百万円となりました。これは、社債及び借入金が64百万円、役員賞与引当金が19百万円それぞれ減少したものの、買掛金が46百万円、前受金が316百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ437百万円増加し、1,493百万円となりました。これは、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加246百万円があったこと並びに四半期純利益222百万円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におきましては、連結経営成績については概ね計画通り推移していることから、現時点におきましては、平成25年１月11日に発表いたしました通期の連結業績予想について変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年６月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	905,194	1,034,271
受取手形及び売掛金	95,524	188,922
商品及び製品	18,577	31,099
仕掛品	99,075	228,956
原材料及び貯蔵品	69,556	215,962
その他	52,805	153,248
貸倒引当金	△1,273	△846
流動資産合計	1,239,460	1,851,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,327	233,348
土地	140,108	117,663
その他（純額）	44,197	139,089
有形固定資産合計	423,633	490,100
無形固定資産		
その他	4,421	5,017
無形固定資産合計	4,421	5,017
投資その他の資産		
投資有価証券	212,256	233,338
その他	152,730	158,091
貸倒引当金	△276,163	△276,163
投資その他の資産合計	88,822	115,266
固定資産合計	516,878	610,384
資産合計	1,756,338	2,461,999
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,260	58,054
短期借入金	108,000	50,000
1年内償還予定の社債	10,000	－
1年内返済予定の長期借入金	218,391	115,404
未払法人税等	7,292	1,403
前受金	37,681	354,234
賞与引当金	－	9,172
役員賞与引当金	19,400	－
製品保証引当金	6,061	4,036
その他	74,487	57,415
流動負債合計	492,574	649,721
固定負債		
長期借入金	177,476	283,779
退職給付引当金	7,058	8,224
その他	22,903	26,899
固定負債合計	207,437	318,902
負債合計	700,012	968,623

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年２月28日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,983	379,113
資本剰余金	1,476,927	1,561,685
利益剰余金	△672,284	△449,719
自己株式	△1,911	△1,911
株主資本合計	1,058,715	1,489,168
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,706	600
その他の包括利益累計額合計	△4,706	600
新株予約権	2,317	3,607
純資産合計	1,056,325	1,493,376
負債純資産合計	1,756,338	2,461,999

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成24年２月29日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成25年２月28日）
売上高	1,078,528	891,028
売上原価	443,792	378,564
売上総利益	634,735	512,464
販売費及び一般管理費	333,453	389,749
営業利益	301,281	122,714
営業外収益		
受取利息	1,633	1,189
受取配当金	1	1
貸与資産賃貸料	31,152	29,880
為替差益	1,760	23,428
その他	4,414	3,247
営業外収益合計	38,961	57,747
営業外費用		
支払利息	9,777	7,119
貸与資産諸費用	10,275	8,012
新株予約権発行諸費用	8,001	7,493
その他	6,349	2,961
営業外費用合計	34,403	25,585
経常利益	305,839	154,875
特別利益		
固定資産売却益	－	307
特別利益合計	－	307
特別損失		
固定資産売却損	2,759	－
特別損失合計	2,759	－
税金等調整前四半期純利益	303,079	155,183
法人税、住民税及び事業税	1,709	1,715
法人税等調整額	－	△69,096
法人税等合計	1,709	△67,381
少数株主損益調整前四半期純利益	301,370	222,564
四半期純利益	301,370	222,564

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成24年２月29日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成25年２月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益	301,370	222,564
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	273	5,306
その他の包括利益合計	273	5,306
四半期包括利益	301,644	227,871
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,644	227,871
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間における第６回新株予約権の行使（188個）及び第８回新株予約権の一部行使（4,765個）により、資本金が123,130千円、資本準備金が123,130千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が379,113千円、資本剰余金が1,561,685千円となっております。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年６月１日　至　平成24年２月29日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	光源装置	太陽光発電関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,036,795	26,843	1,063,638	14,889	1,078,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,036,795	26,843	1,063,638	14,889	1,078,528
セグメント利益又は損失（△）	576,789	△32,325	544,463	4,578	549,041

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	544,463
「その他」の区分の利益	4,578
全社費用（注）	△226,098
たな卸資産の調整額	△21,661
四半期連結損益計算書の営業利益	301,281

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年６月１日　至　平成25年２月28日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	光源装置	太陽光発電関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	524,660	354,056	878,717	12,310	891,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	524,660	354,056	878,717	12,310	891,028
セグメント利益	234,946	113,858	348,805	5,978	354,783

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	348,805
「その他」の区分の利益	5,978
全社費用（注）	△228,498
たな卸資産の調整額	△3,570
四半期連結損益計算書の営業利益	122,714

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

（新株予約権の行使による増資）

平成25年３月１日から平成25年３月31日までに第８回新株予約権の一部（7,335個）について権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概要は次のとおりであります。

（１）発行した株式の種類及び株式数　　普通株式 7,335株

（２）増加した資本金　　111,635千円

（３）増加した資本準備金　　111,635千円

これにより、平成25年３月31日現在の普通株式の発行済株式総数は92,621株、資本金は490,748千円、資本準備金は490,748千円となりました。